

経営の樹を育てる会

【第70回】第3章 経営者の品性 Q&A

開催・日時：名古屋校 令和5年3月20日(月)18:20~21:00

会場：ウインクあいち 905号室 Live&ZOOM

出席者：渥美、安藤(よ)、安藤(広)、須貝、鈴木(雅)、長尾、新田、富士、保田、溝口、
睦浦、榎本、佐々木 13名
(ZOOM)井上、大坪、金井(克)、小林、神農、鈴木(建)、秦野、松本 8名
計21名

講師：古川益一

司会、HP：渥美沙緒里、鈴木建太郎

書記：渥美沙緒里

会場設営：安藤より子、渥美沙緒里

広報：陸浦弘子、保田隼希

記

1.学んだことをいただきました

- ① 真理と知識の違いを間違えて捉えないように、伝えないようにしないといけないと思いました。
努力するより真理で動く、これを実践していきたいです。(安藤より子)

◎Comment

知識と真理は似ているようで根本から違います。素直な気持ちで取り組めばすぐわかります。難しく思うのは「真理を知識で理解しようとする」からです。

「努力」一つを取ってみても正しい努力と間違った努力があります。

自分の器を知り、器内に収める努力は正しい努力、また、器に穴が空いていたら、それを補修することも正しい努力です。器以上に入れようとするのは間違った努力になります。

この真理を応用すると、単純に売上を上げようとするのは、器以上に入れようとするから間違った努力、お客様を大切にしてお客様の結果として売上が増えるのは、器が大きくなることだから正しい努力ということになります。

- ② 経営者の品性について学びました、改めて品性の大切さ、真理の大切さを確認することが出来ました。(榎本)
- ③ 「品性(経営能力)は真理で磨かれる」
結果を出そうとしてあくせくしたり、無理するのではなく、「日常面」での真理(「今日を満足すれば、明日も良くなる」、「自分」=「自然の一部」)や、「経営面」での真理(「周囲の力で自然に引き上げられる」、「周りに好影響を与える」、「情けに報いる」「自然に広がる」)

が大切ということが良く分かり、腹落ちしました。

そして、経営で良い結果を出すためには、戦略的思考(「戦いを略す」と、真理的思考(「必ずこうなる」)の2点で、それにより「売上は増えるもの」、「売上を減らすと、いいお客さんが入ってくる」を実現して参りたいと思います。(金井克治)

- ④ 経営者でいられる事への感謝と存続責任、公共責任、調和責任について深く考えました。日々、忙しくとも感謝を忘れずに器が広がる様に周りから求められる様に日々、研鑽していきます。(小林)
- ⑤ 和合に務め調和に向かう事が大切ということ(神農)

◎Comment

皆さん、一つ一つ理解され、プロの経営者に近付いていかれているように思います。

- ⑥ 全ての判断基準は経営理念であり、社員全員が理解していなくては争いが生じてしまう。(富士)
- ⑦ 品性の話の中に何度も出て来る「経営理念」。会社を起す時に、命を吹き込むようにピッタリな「経営理念」が作れることがとても大切なのだと思いました。会社の命運を分けるかもしれない「経営理念」。会社の命を助けてくれるのも「経営理念」なのですね。(溝口)

◎Comment

2人とも経営理念の大切さを理解されていると思います。

経営理念については、どんな人もわかっているようで本当に理解している人はとても少ないのが現実です。

当勉強会では、経営を「経営の樹を育てる」と定義し、根っこは経営理念としています。

「理念」を仏語では「現象の背後にあって現象たらしめているもの」と解釈されています。次回、夏季編第1章で掘り下げてみましょう。

- ⑧ たくさんの人に応援や協力を頂き、経営者として会社経営を続けることが出来ていること、品性を身につけるための勉強を日々出来ること、すごくありがたいと改めて思いました。プロ経営者10訓が好きです。よく読んで勉強します。(大坪)

◎Comment

このように当勉強会を受け止めて下さること感謝です。共に勉強してゆきたいと思います。

プロ経営者10訓は時間の関係で省いてしまいましたが、次回取り上げます。

- ⑨ 真理的思考は、安心感が得られる！一言(長尾)

◎Comment

まさにその通りです。経営者とその身に付けなければならないものは、「流れに呑まれず流

れに乗ることの出来る安心感」です。

身近に迫ったコロナバブル後の世界の大変化に備えるために、最も頼りになる一言です。

- ⑩ 第2条、和合に努め、調和に向かう心を持てる人に、『口を小さくして何も言わずとも、それぞれ努力した結果として、「後で振り返った時に和が生まれる」こと』とありました。私にとって、患者さんとの関係性がより良くなり、良いことがクルクルと回り始めたことは、もしかしたら…古川先生のご指導の中に会社の利益よりも、患者さんのことを優先（お客様の利益）に考えていることもあるのかもしれない。まだまだ経営のこと、真理のことも、分からないこと、不勉強なことだらけですが… 振り返ってみれば、いつの間にか良い環境に変わりつつあるように感じています。（安藤広樹）

◎Comment

真理に触れていくと、少しずつ周りが変化していくと思います。

これは、自分が変わることで、周りが変わるということです。

自分自身が変わらず、周りを批判していた頃と比べ、大きく変化してきていると思います。

- ⑪ 改めて学んだ「和合に努める」「調和に向かう心を持てる人」になるためには、経営者としての品性をいかに高めるかが大事になると思いました。また、人を変えることはできない、ならば自分が必要な変化を受け入れ、和合・調和できるような人間に一步でも近づけるよう日々精進していきたいと思えます。（鈴木建太郎）

◎Comment

「和」の持つ意味は、とても深いものです。

我が日本の国家理念は和です。

この和によって、「日本が日本である」と言えるかと思えます。

「和は口を小さくすること」真理を理解すると経営も人生も楽しくなると思えます。

- ⑫ 経営者の品性とは調和に導くこと、品性は真理により磨かれることを学びました。善悪も乗り越え、考え方を換え、調和に向かえるよう繰り返し繰り返し努力して参ります。真理とは全てなるほどと納得出来るものであり、真理に沿って生きることにより人生は楽しくなるのですね。真理に触れ続け、実践することでいかなる逆境をも乗り越えられるようになりたいです。（渥美）

◎Comment

素晴らしい理解力です。楽しみながら真理に近付いていくものと思えます。

2. 質問にお応えします

Q1. 売上を下げた利益を上げたいところですが、売上をこれ以上下げるのは厳しく、経費もほぼ下げられないところまで来てると思っています。こうなると売上を上げることを考えてしまいます。（榎本）

◎Answer

「売上を下げて利益を上げる」真の意味を理解されていないようです。

なぜ売上を下げないと利益が出ないのか？

樹に例えてみて下さい。

立派な樹に育てるには、冬の間大きく枝を切り剪定します。その結果、樹勢は強くなり、大きく実ります。

次回、夏季編で説明します。

Q2. 自分は感情を大きく出すタイプではないのですが色んな方から求められる事を放棄したくなる時があります。

どの様な心構えでいれば経営者として楽しみながら経営し続けられるのでしょうか？(小林)

◎Answer

大変難しい質問です。この答えは本書、経営の真理と実践を読み、自分のものにしてゆくに従い、徐々に悟ってゆくものです。私は真理というものを知ってから40年、やっとの思いで入口に辿り着いた程度です。

「焦らずコツコツと日々を満足して暮らすこと」とだけ申し上げたいと思います。

Q3. P67Point 和は求めるものなのか？生まれるものなのか？より、一生懸命働いている

人と、そうでない人とは仲良く出来ないものです。努力している人から、もし「努力していないのに努力している自分より給料が高いのは不満」と言われたとしたら……。

「和とは、1つの目標に向かい全員が努力し、その結果として生まれてくるもの」とするなら、どのように認め合えるように、経営者としてリードしていけば良いのでしょうか。(溝口)

◎Answer

このような質問に出会うととてもうれしくなります。

これに答えられる人は、恐らくいないと思います。

このことが経営者として最も難しい仕事だからです。

経営者である以上、生涯追求してゆかなければならないテーマです。

老子は「無為自然」の経営を説いています。

経営者を4段階に分けて説明しています。

- ・最も悪いのは、社員に侮られる経営者
 - ・次に悪いのは、恐れられる経営者
 - ・そして良いとされるのは、社員から尊敬される経営者
- しかし、これでもまだまだと言っています。

最上の経営者は、どこにいるかわからない、居てもその存在を感じさせない人と言っています。

この老子の思想が陰陽思想であり、真理の原点です。

Q4. 患者さんからお聞きしたのですが…インボイス制度と言う年収1000万以下の個人事業主、小さな会社、フリーランスの方々に対して、消費税のルール変更が2023年の10月～スタートするとお聞きしました。

ただでさえ税金大国、日本において、簡単にお話だけ聞くと、あまり良いイメージを持ってない、インボイス制度は、私たちにとって、良いものなののでしょうか？(安藤広樹)

◎Answer

これらの問題は、当勉強会で取り上げることではないので控えますが、全て知識の世界のことです。一方では正しいことであり、一方では間違っています。

世の中の矛盾を感じられているかと思いますが、矛盾は陰陽思想で紐解くと理解出来ていくと思います。世の中の全ては陰陽で成り立っています。

しかもその陰陽は、お互いに補完し合っています。

「陰転じて陽となし 陽転じて陰となす」の通りです。

難解ですが、徐々に理解されてゆくとと思います。

Q5. 明日にも死にそうだった社長が、古川先生の「会社と経営者は別人格、一緒にしない」の言葉で、明るさが出て、良いことをたくさん引き寄せ、今は会社が軌道に乗った感じで好調です。考え方一つでここまで違うのか、ビックリしています。(安藤より子)

◎Answer

「会社経営は夢に満ち溢れたもの」これが当勉強会のテーマです。

このテーマを実現するには、考え方を変えなければなりません。

この考え方を考えることは、難しくもあり、簡単なことでもあります。

是非、多くの人に教えてあげてください。

3. 体験談があったら教えてください。

- ① 以前は社員が思うように仕事に取り組んでくれなかったり、揉め事があつたりで悩んでいましたが、古川先生のアドバイスで社員を叱らずに長所だけ見ることを心がけて来た結果、お客様からお褒めの言葉をたくさん頂けるようになりました。
口を小さくの調和の大切さを改めて実感した出来事でした。(大坪)

◎Comment

・「人は人を変えられない」しかし、「自分が変われば相手も変わることもある」

・「人の欠点を指摘し、直そうとしても出来ることではない」しかし、「長所のみを見て伸ばしてあげれば伸びる」その際、欠点は消えてゆく。

この真理が理解出来れば、経営は楽しくなれると思います。

当然、社員は明るくなり、お客様へも伝わり、売上げは伸びていくのは当然のことです。うれしいことです。

- ② 自分を信じていた時は、自信がありました。自分を信じなくなった時、謙虚な心で他に学ぶ気持ちが少し出来るようになりました。(陸浦)

◎Comment

「自分を信じて生きよう！」は知識の世界の言葉です。

自分を信じたために失敗した人がほとんどです。私も会社を亡くしました。
自分を信じない、つまり、自分自身を客観視することが出来れば、正しく生きられると思いま
す。

このことに気付くことは、真の経営者に近づく一步と思います。

4. 勉強会で学んだ考え方・方法を実践して具体的に変化はありましたか。

① 1 番の変化は自分自身が変わったことです。それにより徐々に周りの状況も好転している
と思います。(大坪)

② 売り上げ利益がついてきているので今年も黒字決算出来そうです。(小林)

◎Comment

自分自身を冷静且つ客観的に眺めることは、難しいことですが、大切なことです。

自分自身が変わると、社員が変わる、お客様も変わる、利益も上がる、全てが良い結果をも
たらします。

社員は働かせるものでなく、働くものである

お客様は呼ぶものではなく、来るものである

利益は求めるものではなく、上がるものである

これらの真理が表われて来るはずです。

5. 勉強会を通して、あなた自身がどのような経営者、または会社員になっ

ていきたいですか？

① プロ経営者としての品性を身につけ、夢を持って経営理念実現のために会社経営を続け
ていきたいです。(大坪)

② 経営者であることをしっかり自覚し、調和に導くことが出来るようになりたいと思います。
(陸浦)

◎Comment

「経営とは夢に満ち溢れたもの」の実践です。

大変難しいだけにこれ程やりがいのある仕事はないと思います。

あくまで、「経営という仕事」として捉えることで、生涯幸福な人生を得られると思います。

以上